

地方が成長の主役！ 今こそ秋田のカントリーボーイ

政治活動の近況報告、その一端をご紹介します・・・

とがし代議士が経済産業委員会で 委員質疑のため登壇

3月16日(水)経済産業委員会で主にエネルギー関連政策を中心にした質疑のため登壇し、「エネルギーミックスでベースロード電源の一つである石炭火力の位置づけとCO2排出量への懸念」、「新規エネルギー事業でタイムラグを惹起している時間の掛かり過ぎる環境アセス」、「特に東北から首都圏を販路とする電力を送るための送電網が極めて脆弱である東北日本海側送電網整備をいかに進めるか」などについて、厳正かつ現場を踏まえた質疑を林経済産業大臣の答弁を中心におこないました。それぞれ今後の前向きで具体的な取り組みを行っていく道筋を答弁いただきましたが、今後も引き続き地元雇用と経済活性化のために政治生命をかけて積極的に取り組んでいくと抱負を語っておりました。



石破茂地方創生担当大臣をお招きしての シンポジウムと講演会が盛況に開催

とがし代議士は石破大臣に、地元秋田での地方創生の中心となる「若者の地方への集積」を目的としたシンポジウムと、秋田市民参加による「地方創生で何をを目指すのか」についての講演を要請し、石破大臣の快諾を受けて2月6日に地元大学関係者と県内企業、関係機関によるシンポジウム、秋田市民を集めての講演会を開催しました。参加者からは、熱い意見や質問が出され有意義に終始しましたが、引き続きこのような会の開催を希望する声が多数あがりました。

齊藤健農林水産副大臣を お招きし、秋田市内のJA・NOSAI・ 農業委員会・土地改良区の 皆様が一堂に会して農業政策に 関する意見交換会を開催

とがし代議士は齊藤健農林副大臣に、昨年10月に大筋合意したTPPに関連し、米を基幹とする地元農業者の不安を直接聞かせてもらうために「所得向上」、「農業生産の拡大」、「地域の活性化」など、農業者が将来展望を持って取り組める政策実現に向けての交流会に招聘したところ快諾をいただき、2月13日に胸襟を開いて、特に若手農業経営者から活発な意見が出され本音で語り合う意見交換会の実現をみるに至りました。



地道な政治活動の一端をご紹介します

田村憲久 元厚生労働大臣 との座談会 6/12(日)開催予定



子育て支援、高齢者介護、障害児者支援など、充実した社会福祉制度を構築するために社会福祉法等の一部を改正する法律が施行されています。これからの社会福祉の在り様について福祉法人や施設をご利用される皆様の不安を払拭していただくために、とがし代議士は田村元厚労大臣をお招きし、6月12日開催に向け、関係者と座談会を開催すべく現在準備中です。

福島・宮城被災地視察



東日本大震災からの集中復興の5年が過ぎましたが、とがし代議士は東日本大震災復興特別委員会理事として被災地へ幾度となく視察に入りました。今だ道半ばとはいえ力強く復興に向け順次進捗してきている現状を自らの目で確認しましたが、今後とも国をあげて一日も早い復興を目指し、引き続き復興・創生(5年間)に向け、力を尽くしていく覚悟です。



とがし代議士は自由民主党が掲げている主要政策に関し、これまでも機会あるごとに直接地元市民に訴えてまいりました。週末はできるだけ地元街頭に立ち、自らの政策を訴える活動を続けております。